

第8章 神の国の歴史の一貫性

神の国の歴史について、前章に続いて教材を使って考えてみましょう。

○教材の説明

縦10cm、横17cmの枡(ます)20

長さ3m40cm (写真①)

1～3青色、4～12ベージュ、13～15黄色、

16～20白色 (写真②)

○子供の仕事

前章の小冊子の文を書く。

1から15まで、文の下にイラストを描く。(写真①)

<先月号小冊子の文の続き>

6、私たちは神が最初の人間にして下さった偉大なみわざを創造と呼びます。

・・・イラスト (写真③) の2

7、地に植物、動物があらわれ、空に鳥、水の中には魚があらわれ、創造されたものの中で人間が最後でした。

すべてのものが準備された宴会に招かれたわけです。

・・・イラスト (写真③) の7

8、人間への神の愛はこのように大きいものでしたが、更にもっと豊かに、与えることをお望みになりました。

長い年月が過ぎ去りました。ある日、ユダヤのベトレヘムというところに男の赤ちゃんが生まれました。その赤ちゃんは救い主イエス・キリストと呼ばれました。

すべての人は死にますが、彼は死より強い力で、死んで復活しました。

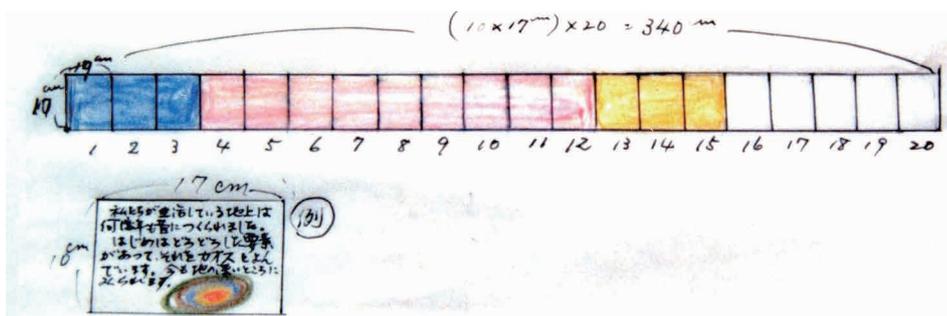
・・・イラスト (写真④) の8

9、主イエス・キリストが復活した日から人々は彼に一致し、彼に似た生命を与えられました。それは死よりももっと強い生命です。彼に一致して死んだ人々は新しい生命に生まれかわります。

・・・イラスト (写真④) の9



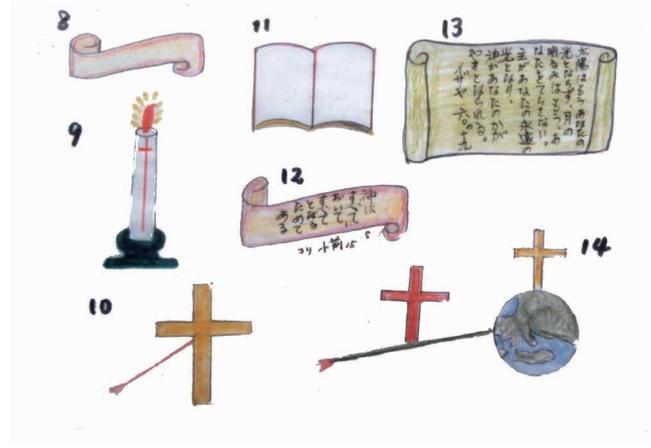
写真①



写真②



写真③



写真④

10、私たちは主キリストが復活したことによって知った偉大なみわざを救世と呼びます。

・・・イラスト (写真④) の 10

11、復活したキリストの新しい生命は多くの人々に向けられました。そしてある日私たちにも、もたらされました。私たちは新しく生まれた人間になりました。それによって私たちも神の国の歴史に加わりました。そのように長く、大きな歴史とはいえ私も又その部分となったわけです。

神の国は沢山のページが書かれた大きい本のようにであり、私たちも今日生きていることをその中に書きまなければなりません。そして明日についても書かねばなりません。

・・・イラスト (写真④) の 11

12、神は人間の口から涙をすべてぬぐわれ、死ももうなく、悲しみも、苦しみのさけびもなくなります。(黙示録 21 の 4)

その日まで新しい人々の群はいつも増し、地をみたすであろう。(コリント前 15 の 28)

・・・イラスト (写真④) の 12

13、その日について預言者たちは私たちに語っています。

神が初めに行なった創造を再びあらたにするであろうと。

・・・イラスト (写真④) の 13

14、私たちは神がすべてにおいてすべてになるときを再臨と呼びます。

・・・イラスト (写真④) の 14

15、創造のみわざによって始まった神の国の歴史は、救世によって頂点に達し、再臨によって完成されます。

私たちはこれを神の国の歴史、神の救いの歴史と呼びます。

そしてこれらのことがらはすべて聖書の中に物語られています。

・・・イラスト (写真③) の 5